

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	133504		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。											
事務事業名	平和都市推進協議会支援事業							担当部局・課	市民部 国際・平和課			<div>評価結果</div> <div>A</div> <div>上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。</div> <div>上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。</div>		
事業内容	平和学習教材の収集提供、子供向けアニメ映画会、一般向け啓発映画、ピースラブコンサート、平和パネル展、アジア体験ワークショップ、異文化理解セミナー、バスツアーなど市主催事業を補完する形での平和啓発。							事業開始(予定)年度						
								平成3年度						
								事業終了(予定)年度						
							—							
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現											
		項目	きめ細かな地域福祉の推進											
		施策	平和啓発・教育の推進											
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。													
事業の目的	90年12月平和モニュメント建設実行委員会を母体に設立された「伊丹市平和都市推進協議会」の活動支援							予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)			(款) 総務費 (項) 総務管理費 (事項) 平和推進事業費 (目) 企画費			
事業費等の概算	平成17年度(決算)							平成18年度(予算)						
	事業費	1,000千円	財源内訳					事業費	900千円	財源内訳				
			国・県補助金等		—					国・県補助金等		—		
			市債		—					市債		—		
			その他(使用料等)		—					その他(使用料等)		—		
			一般財源(市税等)		1,000千円					一般財源(市税等)		900千円		
	投入人員	0.80人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)					投入人員	0.80人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				
	人件費	6,853千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。					人件費	6,853千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				
	経費合計	7,853千円						経費合計	7,753千円					
活動指標	指標名(単位)	1事業あたりの参加者数(人)						計画と実績	年度 区分	H17年度		H18年度		
	意味・算式等	平和都市推進協議会が実施する事業への参加者総数／事業数								計画値	300	300		
										実績値	387			

評価結果	A
	上位施策に対する貢献度は高く、現行のまま継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。